

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【公開番号】特開2019-84234(P2019-84234A)

【公開日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2019-021

【出願番号】特願2017-216466(P2017-216466)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月5日(2021.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出するスロットマシンにおいて、

遊技の進行を遅延させる遅延制御についての遅延制御情報を記憶領域に記憶する記憶手段と、

前記遅延制御情報として第1遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における第1タイミングで遅延制御を行う第1遅延制御手段と、

前記遅延制御情報として第2遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における前記第1タイミングと異なる第2タイミングで遅延制御を行う第2遅延制御手段と、

前記第1遅延制御手段により遅延制御が行われたときと前記第2遅延制御手段により遅延制御が行われたときとのいずれであっても、単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する初期化手段とを備え、

前記初期化手段は、単位遊技において遅延制御が実行されなかったときであっても、該単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出するスロットマシンにおいて、

遊技の進行を遅延させる遅延制御についての遅延制御情報を記憶領域に記憶する記憶手段と、

前記遅延制御情報として第1遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における第1タイミングで遅延制御を行う第1遅延制御手段と、

前記遅延制御情報として第2遅延情報が記憶されているときに、単位遊技における前記

第1タイミングと異なる第2タイミングで遅延制御を行う第2遅延制御手段と、

前記第1遅延制御手段により遅延制御が行われたときと前記第2遅延制御手段により遅延制御が行われたときとのいずれであっても、単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する初期化手段とを備え、

前記初期化手段は、単位遊技において遅延制御が実行されなかつたときであっても、該単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する。

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出するスロットマシンにおいて、

遊技の進行を遅延させる遅延制御(たとえば、フリーズ)についての遅延制御情報(たとえば、フリーズ番号)を記憶領域(たとえば、図7のフリーズ番号領域88)に記憶する記憶手段と、

前記遅延制御情報として第1遅延情報が記憶されているときに(たとえば、図6の第1停止時フリーズのフリーズ番号が格納されているとき)、単位遊技における第1タイミング(たとえば、第1停止時)で遅延制御を行う第1遅延制御手段と、

前記遅延制御情報として第2遅延情報が記憶されているときに(たとえば、図6の第2停止時フリーズのフリーズ番号が格納されているとき)、単位遊技における前記第1タイミングと異なる第2タイミング(たとえば、第2停止時)で遅延制御を行う第2遅延制御手段と、

前記第1遅延制御手段により遅延制御が行われたときと前記第2遅延制御手段により遅延制御が行われたときとのいずれであっても、単位遊技の終了に関連して前記記憶領域を初期化する(たとえば、図7の4印に示すように、実行されたフリーズの種別に関わらず、ゲーム終了時処理でフリーズ番号領域88を初期化する)初期化手段とを備える。